



とちぎ農産物マーケティング協会 月刊情報

Vol.203
令和6年8月号

第15回いちご王国グランプリ表彰式を開催

7月29日(月)、当協会とJA全農とちぎは、栃木県庁公館において、『第15回いちご王国グランプリ』の表彰式を開催し、生産者及び関係者約70名が参加しました。今回は初めて「とちあいか」を対象に開催し、品質、立毛、収量等の審査を経て出品された12点の中から大賞ならびに農林水産大臣賞に、JAかみつがの田村正さん、祥子さんが選ばれました。

大賞受賞ほ場は、育苗期から肥培管理を徹底し、着花数を確保することで高い年内収量を実現していました。また、本ぼ定植後の温度管理も徹底されており、生育は株揃いが良く、花房の連続性があり、着果数も十分確保された上に果実肥大にも優れていました。さらに、食味も良く、パック詰めの外観等においても非常に高い評価を得ており、大賞にふさわしい、いちご経営を実践されていました。

また、金賞5点、銀賞6点を選定し、いずれも出品者の日々の努力の積み重ねや、高い技術力が感じられ、優劣つけがたいものがありました。

夏場の酷暑など年々気象条件が悪化する中で、素晴らしいいちごを生産していただいている皆様に対して深く敬意を表します。



受賞者は下記のとおりです。()内は所属JA。
▽金賞 佐藤賢治(なすの) 大久保秀一・智美、杉山和敏・起佐子(うつのみや) 田村大輔・彩花(おやま) 江田豊・理紗(しもつけ)
▽銀賞 大島智子(しおのや) 橋本貴之、加藤雅之(はが野) 高山直也(しもつけ) 小堀和彦(佐野) 嶋田雅幸(足利)

第64回全国ナシ研究大会栃木県大会を開催



7月11日(木)～12日(金)の2日間、本県で『第64回全国ナシ研究大会栃木県大会』が開催されました。主催は、第64回全国ナシ研究大会栃木県大会実行委員会※と全国果樹研究連合会で、実行委員会委員長は、当協会果樹部会の江崎部会長が務め、当協会も事務局として、大会の運営を支えました。

本県開催は18年振り、全国各地からナシ生産者・関係者など500名を超える方々に参加いただきました。

宇都宮市内で全国果樹研究連合会会長賞の授与式や果樹経営に関する講演、各産地の事例発表等を行った後、日光市内に移動し、交流会とバーチャル産地視察を実施しました。

全果連会長賞は、長年にわたり本県梨の栽培技術向上や産地活性化等へ貢献された元当協会果樹部会長である相場 克元 様が受賞されました。

バーチャル産地視察では、JAうつのみやジョイント栽培研究会、松島隆一様(JAかみつが)、稲毛田梨産地利用組合(JAはが野)および県農研センターから、経営や栽培技術等について紹介されました。

とても蒸し暑い中での開催となりましたが、全国の生産者・関係者間で活発な意見交換や交流がなされるなど、非常に有意義な大会となりました。

(※栃木県・全農とちぎ・JAうつのみや・JAかみつが・JAはが野・とちぎ農産物マーケティング協会構成)



全国ナシ研究大会とは？

全国のナシ生産者・関係者が一堂に会し、技術研鑽をするとともに、産地間の交流・連携を深めることにより、ナシ産業全体の振興を図り、次世代への継承や未来への発展に資することを目的としています。

本県のナシは全国第3位の産出額を誇っており、栃木県を代表する農産物の一つとなっています。(栃木県公式HPより)





鉢物研究会の現地検討会を開催



7月19日(金)、当協会花き部会鉢物研究会は、那須塩原市・大田原市の2生産者ほ場で現地検討会を行い、生産者及び関係機関等から38名が参加しました。

シクラメン・アスター・ラグランジア等を栽培する「澤田園芸」様、シクラメン・ガーベラ・花壇苗等を栽培する「大田原園芸」様のほ場を見学した後、JAなすの大田原南支店会議室で総合検討を行いました。

連日の猛暑による暑さ対策が話題となり、遮光方法や遮光資材導入の結果報告、ミスト導入に伴う補助申請の可能性等、各生産者及び関係機関担当者間で活発な意見・情報交換が行われました。



開会式



澤田園芸



大田原園芸



花壇苗



とちぎの花でスマイルアップ in NHK (8月分)

7月は、お洒落なサーモン色のディスバッドマム※で大輪のスプレーマム、ブークやアレンジメントなどカジュアルに飾ることができる白黄紫のオーソドックスなスプレーマム、真岡北陵高校の生徒が「花束風 初夏のさわやかアレンジメント」と題して県産のバラ・デルフィニウム等を使用し制作したフラワーアレンジメント、強い日差しと夏を感じさせ元気を与えてくれるひまわり、以上4品目の花を紹介しました。

(※脇芽を取り除いた1輪咲きの洋菊のこと)

◇ NHK総合テレビ 毎週金曜日 「とちぎ630」(18:30~)



7/5 スプレーマム
大塚 真幸氏
(鹿沼市)



7/12 スプレーマム
日下田謙治・すみれ夫妻
(真岡市)



7/19 アレンジメント
中田満梨果さん
(真岡北陵高校)



7/26 ひまわり
田辺 正剛氏
(壬生町)

令和6年8月は、オリンピックによる放送内容変更のため、県産花きの紹介は以下のとおりです。

8/23 (金) ケイトウ 塩谷南那須地区
30 (金) グロキシニア 芳賀地区



栃木県農業総合研究センター研修会

とちぎフレッシュメイト
「とちぎの農産物大好き！」



8月5日(月)、栃木県農業総合研究センターに行ってきました！
来年で130周年を迎え、約130名の職員の方が働いています。
センターの広さは、なんと、東京ドーム5.5個分の広さなんですよ！！



各研究室やいちご研究所の職員の方から、栃木県産農産物について、各農産物の品種をはじめ、新品種が出来るまでの秘話など、たくさん教えて頂きました♡



これから、県内外の消費者の方々に「栃木県産農産物の魅力」をしっかりPRしていきます！



栃木県農業総合研究センターの皆様、大変お世話になりました！

◆ ◆ ◆ 8月の予定 ◆ ◆ ◆

1日(木)	「いちご王国」プロモーション推進委員会打合せ	(JAビル)
	いちご部会全体会議	(JAビル)
5日(月)	フレッシュメイト農産物研修	(市内)
	輸出指導者育成セミナー	(JAビル)
6日(火)	「いちご王国」プロモーション推進委員会打合せ	(県総合文化センター)
8日(木)	成田市場視察	(千葉県)
21日(水)	こんにゃく現地検討会	(鹿沼地区)
22日(木)	スプレーム研究会役員会	(JAビル)
29日(木)	球根切花総会・意見交換会	(市内)

一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会 (令和6年8月発行)
TEL: 028-616-8787 FAX: 028-616-8715
<http://www.tochigipower.com/> 「カラダにとちぎ」で検索